

柏高ニュース

第21号
平成26年3月20日
東大阪大学柏原高等学校

***バドミントン部が国際大会で入賞したので、柏高ニュース20号に追加して、柏高ニュース21号として特集します。3月4日(火)には、柏原市長への表敬訪問がありました。

大会出場選手は、常山幹太(2年)<滋賀県草津中出身>、下農走(2年)<大東市大東中出身>の2名です。

2014年アジアユースU19バドミントン選手権大会

(台湾 台北市 2014年2月16日~23日)

男子シングルス 常山幹太 準優勝

1回戦

常山幹太 21 - 14 シンガポール
21 - 18

3回戦

常山幹太 21 - 14 桐田和樹(柳井商工)
21 - 17

準決勝

常山幹太 21 - 9 中国
21 - 18

2回戦

常山幹太 17 - 21 インド
23 - 21
21 - 12

準々決勝

常山幹太 21 - 13 インドネシア
21 - 15

決勝

常山幹太 21 - 19 中国
16 - 21
16 - 21

男子ダブルス 下農走・常山幹太組 第3位

1回戦

下農走・常山幹太 21 - 13 インドネシア
21 - 15

2回戦

下農走・常山幹太 21 - 13 インド
21 - 19

3回戦

下農走・常山幹太 21 - 16 マレーシア
21 - 15

<写真は、右が常山幹太、左が下農走>



準々決勝

下農走・常山幹太 21 - 13 インドネシア
21 - 18

準決勝

下農走・常山幹太 16 - 21 韓国
16 - 21

混合ダブルス

下農走・永原和可那組 ベスト8

<青森山田高校3年>

3回戦

下農走・永原和可那(青森山田) 21 - 16 中国
15 - 21
21 - 14

準々決勝

下農走・永原和可那 21 - 17 韓国
14 - 21
19 - 21

団体戦 日本チーム 第3位

**なお、団体戦は、常山幹太・下農走が、男子シングルの選手として活躍、日本チームは、予選リーグを突破し、決勝トーナメントに進みましたが、準決勝で中国チームに敗れ、第3位でした。

女子シングルスでは、山口茜(福井県・勝山高)が、決勝で中国を破り、優勝しました。

バドミントン部の今後の遠征予定

全国高等学校バドミントン選抜大会

3月20日(木)~24日(月) 長野県松本市

下農走・常山幹太・疋田聖也(2年)<奈良市若草中出身>・曾根雄太(2年)<大阪市豊津西中出身>
千葉大(2年)<堺市三国丘中出身>・堤琢馬(2年)<滋賀県聖徳中出身>・

小倉由嵩(1年)<東京都小平二中出身>・中村友哉(1年)<石川県金沢市高岡中出身>の8選手が出場

ヨネックス大阪2014(大阪インターナショナルチャレンジバドミントン選手権大会)

4月1日(火)~4月6日(日) 守口市総合体育館 **国際大会

小倉由嵩が出場

2014世界ジュニアバドミントン選手権大会

4月7日(金)~20日(日) マレーシア **国際大会

常山幹太、下農走が出場

2014アジアバドミントン選手権大会

4月20日(日)~27日(木) 中国 マカオ特別行政区 **国際大会

常山幹太、下農走が出場

*バドミントン部、元世界チャンピオンが指導に来校!

2月14日(金)の放課後、インドネシアの元世界チャンピオンのタウフィック・ヒダヤットさんが来校され、約20名の柏高バドミントン部の部員に実地指導をしていただきました。インドネシアではバドミントン競技は国技になっています。タウフィック・ヒダヤットさんは現在32歳、1999年に17歳の若さで全英オープン準優勝を果たし、常人とかけ離れたラケットワーク、甘いマスクに似合わないはっきりとした物言いで、昨年6月の引退まで注目を浴び続けてきました。バドミントン史上、もっとも愛された伝説の選手が、柏高にはお世話になったということで、来日予定の中に柏高バドミントン部訪問を入れ、実際にバドミンの指導をしてくださいました。通訳の方を通しての理論指導、コートでの実地指導など精力的に動いてくれました。部員たちには忘れられない貴重な時間になったことでしょう。



<写真、コート中央、正面を向いているのがタウフィック・ヒダヤットさん>